

平成２８年度第１回若葉区支え合いのまち推進協議会議事要旨

１ 日 時 平成２８年６月２９日（水）１０時００分～１１時４５分

２ 場 所 若葉保健福祉センター３階 大会議室

３ 出席者

（１）委員 赤間委員、市原委員、江口委員、江澤委員、大嶋委員、尾崎委員、尾出委員、海寶委員、片岡委員、加藤（強）委員、加藤（弘）委員、工藤委員、小出委員、白井委員、立野委員、田中委員、津田委員、角田委員、鶴岡委員、東田委員、長友委員、縫部委員、布施委員、松野委員、真鍋委員、山内委員、山谷委員、和田委員

（２）事務局 鎗田区長、石原保健福祉センター所長、金澤社協区事務所長、三浦地域振興課室長、風戸地域福祉課長、正司高齢障害支援課長補佐、田中高齢障害支援課主査、黒木地域福祉課主査、鈴木社協区事務所主査補、石坂社協区事務所主任主事、丹下高齢障害支援課主任主事、仁保地域福祉課主事

４ 議 題

- （１）委員長・副委員長の選任について
- （２）運営企画委員の選任について
- （３）平成２７年度若葉区支え合いのまち推進状況の取りまとめ等について
- （４）平成２８年度の取組みに向けて
- （５）今年度の年間スケジュールについて

５ 議事の概要

（１）委員長の選任について

本協議会設置要綱第５条第２項の規定に基づき、委員の互選により、津田委員長、赤間副委員長、江口副委員長、縫部副委員長を選任した。

（２）運営企画委員の選任について

本協議会運営企画委員会要領第５条第２項の規定に基づき、委員の互選により、津田委員長、赤間副委員長、江口副委員長、縫部副委員長、大嶋委員、角田委員、松野委員、山内委員を選任した。

（３）平成２７年度若葉区支え合いのまち推進状況の取りまとめ等について

重点取組項目の進捗状況（平成２７年度）について、若葉保健福祉センター所長及び高齢障害支援課主査が説明をした。

（４）平成２８年度の取組みに向けて

２８年度の取組課題について、高齢障害支援課主査が説明をした。

（５）今年度の年間スケジュールについて

平成２８年度若葉区支え合いのまち推進協議会スケジュールについて、高齢障害支援課主査が説明をした。

6 会議経過

- (1) 開会（事務局）
- (2) 開会挨拶（若葉区長）
- (3) ア 委員紹介
イ 事務局職員紹介
- (4) 議事

○事務局

委員改選後、初めての会議なので、委員長、副委員長が選任されるまでの間、議事の進行は若葉保健福祉センター所長が仮議長を務めてよいか。

（異議なし）

○仮議長（若葉保健福祉センター所長）

本協議会設置要綱第5条第2項により、委員長1名、副委員長3名を委員の互選により選出されることとしているがいかがか。

○委員

副委員長の経験のある津田委員はどうか。

○仮議長（若葉保健福祉センター所長）

委員より津田委員というご推薦がでたが、いかがか。

（異議なし）

○仮議長（若葉保健福祉センター所長）

続いて、副委員長の選任について、いかがか。

○委員

事務局に一任したい。

（異議なし）

○事務局

副委員長に、赤間委員、江口委員、縫部委員にお願いしたい。

（異議なし）

《委員長・副委員長挨拶》

○委員長

それでは、議題（2）運営企画委員の選任について、本協議会運営企画委員会要領第5条第2項により、8名で構成し、事務局及び委員の互選により選出されることとなっている。事務局案でいかがか。

（異議なし）

○事務局

委員長に津田委員、副委員長に赤間委員、江口委員、縫部委員、委員に大嶋委員、角田委員、松野委員、山内委員にお願いしたい。

(異議なし)

○委員長

次に、議題（３）平成２７年度若葉区支え合いのまち推進状況の取りまとめ等について、事務局より説明願いたい。

○事務局

平成２７年度重点取組項目の進捗状況について、昨年度３月の本会議で報告したものだが、新委員も多いことから、再度テーマごとに作成して配付した。なお、資料は、地区部会エリアごとになったものを、社会福祉審議会地域福祉専門分科会へ報告したい。

○事務局

補足説明だが、各地区部会エリアでは推進計画に沿ったテーマ決め、取り組んでいただいている。今回は、２７年度を取組テーマごとに、地区部会エリアを掲載した。

１つのテーマに対しても、各地区部会エリアでやり方や目標も異なるので、他の地区部会エリアを参考にして、実績につなげていってほしい。

次に平成２７年度重点取組項目の進捗状況の取りまとめ表については、若葉区全体の目標達成状況を掲載。若葉区全体で６７．７パーセント実施出来ているという報告を受けている。

残りの約３０パーセントは、２８年度、２９年度に向けての取組目標とされた。

○委員長

平成２７年度重点取組項目の進捗状況の取りまとめ表から、事業の拡充・拡大での目標超と目標達成は２５項目であったが、新規事業での目標超と目標達成は１５項目といったところである。やり慣れた事業は、高い割合で達成に到達出来たということが読み取れる。

○委員長

地域連携について、地区部会単独活動、地区部会と自治会等で活動、地区部会と自治会以外で活動ということで取りまとめをしているが、地区部会エリアの所在している自治会に働きかけて、見守り、支え合いへの啓発を受けて、自治会が単独で実施した場合はどうか。

○事務局

自治会での単独活動は、２７年度末に頂いている「第３期若葉区支え合いのまち推進計画重点取組項目の進捗状況記録票」で報告がされたが、今回提示した重点取組項目の進捗状況取りまとめには記載していない。

○委員長

実際には、地区部会エリアに所在している自治会に働きかけて、見守り、支え合いへの啓発を受けて、自治会が実施していったことが多いのでは。

○事務局

「第3期若葉区支え合いのまち推進計画重点取組項目の進捗状況記録票」に、あらかじめ活動主体を記入しており、自治会か各自治会等というように分別がわかるように報告はきている。

○委員長

次に、議題（4）平成28年度の取組について事務局より説明願いたい。

○事務局

第3期推進計画（平成27年度～29年度）は、各地区部会エリアでそれぞれ目標を設定し取り組まれているが、平成27年度重点取組項目の今後の課題として、状況報告があった主なものは4項目で、配付資料のとおりである。

○委員長

自治会との連携について、私の地域の自治会に関して支え合いの会というものを地区で3年がかりで立ち上げることが出来たが、大変苦勞をした。

自治会との普段のコミュニケーションが非常に大事であり、コミュニケーションを取る機会を多く設けることが大事である。

○委員

地区部会の周知方法について、私どもふれあい活動、ご近所付き合いのため、民生委員3名に協力してもらい、自治会を通して「ご近所だより」を配ろうとしたが、自治会に加入されていない方がたくさんいる。自治会に加入している人からすると、加入していない人は、面倒はみれません、配れませんになってしまう。人を選ぶものでなく、手助けしていこうという福祉活動に対して、どうやっていけばよいか困っている。

○委員長

自分のところもそうだが、周知というものは1回、2回断られても諦めず、何回もやっていくことが大事である。

○委員

自治会の現状としては、隣近所の情報交換等がなく、自治会長の任期は1年のため引き継ぎが厳しい。地区部会エリアのふれあい活動について、3～4年は継続的に取り組める人材確保が特に必要である。地域で継続した核となる人材を探し出すことが先決だと考える。

○委員

本協議会の構成メンバーをみると、地区部会エリア、自治会連絡協議会、民生委員など多くの団体の立場で参加しているが、連携が取れているのか。民生委員の立場からも地域福祉推進へ協力してほしい。

自治会については、なぜ福祉なのといった感じであるが、町を創る、皆で創るという方向に向いていてほしい。行政サイドから指導を徹底していただかないと難しい。

○委員

自治会長が4～5年と長く出来ればいいといった話があるが、各自治会にも事情がある。地区連として各自治会を把握出来ればいいが、私の地区の自治会は、23自治会あり毎年1年で役員が変わる。

任期は各自治会の規約で決まっている。規約を変えとなると、ほぼ役員全員の賛成がないと変わらない。現状は厳しい。会長の書類等引き継ぎをしっかりとできるようにしていくことなどが現状出来ることである。

○委員長

任期は確かに1年であるが、どうやっていくかを考えないといけない。自治会不在で地域福祉を推進していくのは難しい。

私のところでは核になる人材を育てる。まず最初に、こういったことが必要ということを自治会役員に伝える。自治会役員は変わってしまうので、検討会を立ち上げる。来年度検討会を発足させるといったことを本年度作成し、来年度のメンバーに検討会に入るよう準備し、複数年やれる人をはめ込んでいく。民生委員、自治会役員、近隣施設員を検討委員に入れ、検討委員会で翌年、支え合いの会を立ち上げた。代表は自治会副会長という位置づけとし、それ以外のメンバーは複数年やれるといったように、継続性を持たせる工夫をしていった。

○委員

老人会に15年近く携わっている。いろいろな組織に出させてもらっているが、日本は民主国家で、縦割りの社会なので各規則が違う。みんなで手を繋いでいくというのは非常に厳しい。

地域包括システムでも手を結び丸い輪になって、一緒にやりましょうということで始まったと思うが、なかなか進んでない。縦割りの社会なので各規則が違い、一緒に統一できない。

若葉区老人会では、最近まで会員が2,000名近くいたが、現在は、1,600名近くになっている。60歳以上対象者としているが、現役で働いている人などは、私は老人ではないということなので会員にならない。

全国でも問題となっており、880万人くらいいたが、今では600万人くらいになっている。

老人は増えるが、老人会への加入が減っている。全国老人クラブとして1,000万人会員を目標ということで、我々も頑張っている。

若葉区の自治会連絡協議会の会長へ頼み込んだが、現状区には連合会へ加入している老人会のクラブが25しかなく、18のクラブが加入していない。クラブへ入っていないということは、300円の入会費の問題。

また、老人クラブがない地域があるので、クラブを作ってほしいということを行政に頼んでも、実行する課がない。民生委員へ老人会を作ってほしいというと、業務に入っていないとのことで、なかなか厳しい。

また、別件だが、自治会への加入を頼むと会費があるから入らないなど、手を結んでやっていくのは非常に厳しい。

○委員長

いろいろな話は出ているが、工夫をして進めていって頂きたい。

○委員長

次に、議題（5）今年度のスケジュールについて事務局より説明願いたい。

○事務局

本会議は次回を9月と予定、年4回実施予定としている。本会議前に運営企画会議を実施。広報誌は年2回を予定している。

○委員

本会議について早めに案内があると助かる。

○委員長

事務局と協力してご期待に添えるようにしたい。

なお、支え合いの活動については、お互いに知恵を出し合い参考にしてほしい。

他はよろしいか。

ないようなので、以上で、平成28年度第1回若葉区支え合いのまち推進協議会を閉会する。

この後は、事務局よりお願いしたい。

○事務局

本日の会議の議事要旨については、約1か月後、千葉市のホームページに掲載を予定しているのでご覧ください。次回の日程は9月末を予定している。日程が決まり次第、改めて通知したい。